

8月

8月8日(土)「第三回日の出さくら納涼祭」を開催致しました



今年は、お天気にも恵まれ盛大に納涼祭を開催する事が出来ました！！
たくさんのご家族様が参加してくださいましてありがとうございました。
今年はサプライズ演出という事で職員で結成された「えびJAPAN」の演奏がありました☆
たくさんのご声援ありがとうございました。
何より、ご利用者様の満面の笑顔が見れて嬉しかったです(*^*)



9月

9月12日(土)に敬老会を催しました。

敬老会

今年は100歳を迎える利用者様が2名いらっしゃいました。
「ご長寿、敬老の日おめでとうございます」



昼食は「お祝い膳」が出ました☆
最高齢・百賀・米寿・喜寿のお祝いをして最後に「ふるさと」を合唱しました。

お月見
だんご作り



お月見だんごを作りました☆
話しながら、楽しそうに作っていました☆

医療法人社団 秀仁会
介護老人保健施設 日の出さくら
東京都西多摩郡日の出町平井3608-1
☎042-588-7100

ホームページもあります☆
是非、ご覧ください♪
<http://老健日の出さくら.jp>

「そうめん流し」



7月



鹿児島県産のおつゆがとても美味しかったです！！



7月・8月・9月に当施設
で行われた行事やレクの様
子をお送り致します。

朝の空気に爽秋の気配が感じられる
頃となりました。

櫻通信

平成27年

夏号

七夕～たなばた～

「流しそうめん」の歴史
流しそうめんの古い記憶を辿ると、江戸時代の琉球(沖縄)は薩摩藩のあるそうです。

薩摩の出先機関の在番奉行所の役人の接待のうち、那覇湾の一角から落下する清冽な泉流からそうめんをながし、途中ですくって食べるのを興じてもらう方法を提供したのです。

それを商業化にし、観光の一環として始めたのは宮城県は高千穂峡です。
そこにある流しそうめんの老舗「千穂の家」の創業者が、高千穂駐在記者が野外でそうめんを湯がき、高千穂峡の冷水にさらして食べていたのを目にし、流しそうめんを生み出したそうです。
半分に割った竹筒に流そうと思っただけは商業化するにあたり、暑い夏に清涼感を味わってもらおうアイデアです。
クーラーなんていうものが無い時代、暑い夏にそうめんを食べる時に少しでも涼しさを感じてもらおうというこのやり方は風流で楽しめるためにすぐに全国的になりました。
インターネットサイトより抜粋



今年は「吹き流し」を作成しました☆
作成風景も載せましたのでご覧ください。



～風船遊び～
風船って夢中になっちゃうんですね☆



皆様の願いが届きますように

7月は、夏の風物詩「そうめん流し」を行いました☆
そうめん流しの機械は、本場鹿児島県の会社が作製した専用の機械を使用し、めんつゆも本場鹿児島県の唐船峡を使用しました。
めんつゆは、だしの味がとっても上品で鼻から抜ける風味は絶妙でした(#^_^#)
ご利用者様もたいへん喜ばれていました☆
中には、たくさんお替りをしている方もいました。来年も、行いたいですね！
7月と言えば、「七夕」です！
今年は、「吹き流し」を作成してみました(*^_^*)
午後のワークで、お花紙で花を作ったり、丸めたりたくさんのご利用者様が手伝ってくれました。
短冊に願いを込めて笹に吊るしたり、七夕飾りを作ったりしました。
「今年は、彦星さんと織姫さん会えるかねえ～」と心配している方もいらっしゃいました☆